

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アフリカ開発会議フォローアップ事業関係経費	担当部局庁	中東アフリカ局	作成責任者								
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始 ・平成22年度終了	担当課室	アフリカ第二課	課長 齋田 伸一								
会計区分	一般会計	施策名	I-6 アフリカ地域外交									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省組織令第58条及び第62条	関係する計画、通知等	特になし									
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第四回アフリカ開発会議(TICADIV)では、我が国を含むドナー諸国・機関が打ち出した対アフリカ支援策を「横浜行動計画」として発出すると共に、その進捗状況をモニターするためのフォローアップ・メカニズムを創設した。本件事業を通じ、同メカニズムの一環として毎年アフリカにて開催している閣僚級フォローアップ会合での議論の基本資料となる「TICADIV年次進捗報告(ウェブサイト及びパンフレット版)」を作成し、TICADプロセスとして説明責任を確保することが目的である。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	TICADフォローアップ事務局であるアフリカ第二課が、TICADIVで打ち出された対アフリカ支援策の進捗状況を各ドナー国・機関より取りまとめ、右に基づき、ウェブサイト上のデータベース版及びパンフレット形式のダイジェスト版から成る「TICADIV年次進捗報告」を作成し、閣僚級フォローアップ会合における議論の基本資料等として利用する。なお、同報告の作成にあたっては、デザイン、翻訳及び入力作業等を業者に委託する。											
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他											
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求					
		補正予算	—	—	—	—						
		繰越し等	—	—	—	—						
		計	—	10	3	—	—					
	執行額		—	10	3							
	執行率(%)		—	98.0%	86.6%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)				
	目標: 対アフリカ支援策の進捗状況を取りまとめ、TICAD閣僚級フォローアップ会合における議論の基礎資料として活用する。 実績: TICAD閣僚級フォローアップ会合参加者数			成果実績	人	—	430	500	—			
				達成度	%	—	100	100				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込				
	ウェブサイト上のデータベース版及びパンフレット形式のダイジェスト版から成る「TICADIV年次進捗報告」を毎年1回(日・英・仏語版)作成する。			活動実績 (当初見込み)	回	—	1	1	—			
						—	1	1	(—)			
単位当たりコスト	6, 035, 662 (円/1回)			算出根拠	21年度及び22年度の実績合計を作成回数2回で除した金額							
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由								
	計											

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	TICAD閣僚級フォローアップ会合は、第四回アフリカ開発会議(TICADIV)で「横浜行動計画」として採択された対アフリカ支援策の履行状況をモニターするためのフォローアップ・メカニズムの一環として、我が国が国際公約として実施するもの。同会合における議論の基本材料として年次進捗報告を作成する本件事業は、我が国が、国際社会に対する説明責任を確保するために極めて重要であり、世界各国に在外公館を有し、各国・国際機関との窓口となっている外務省が責任を持って取りまとめるべきものである。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
23年度より「アフリカ開発会議(TICAD)閣僚会合開催経費」に統合			

※平成22年度実績を記入

外務省
2.5百万円

A.【企画競争】
(株)エフピー・アイ・コミュニケーションズ
2.0百万円
翻訳/印刷/製本業

【競争性のない随意契約】

A
0.7百万円
翻訳(英語→仏語)業務

B.【少額による見積り合わせ】
翻訳業者2者
0.6百万円
翻訳業者2者

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	外部委託	A 翻訳業者	1			
	人件費	構成, 翻訳, 印刷, 製本等	1			
	計		2	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. (株)エフビィ・アイ・コミュニケーションズ

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エフビィ・アイ・コミュニケーションズ	翻訳・印刷・製本業	2	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 翻訳業者2者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	翻訳者A	翻訳	0.1	1	
2	翻訳者B	翻訳	0.4	1	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					